

Hail Mary

Formation Book for Mr.Untouchable

Magazine

ヘイルメリーマガジン



LARRY SMITH
THUNDERBIRD PENDANT
WITH TURQUOISE



SELF-CUSTOMIZED
USN
UTILITY JKT



VOL.109
JUNE 2025
1,650yen

EBBETS FIELD FLANNELS
xHTC
BASEBALL CAP



DAD'S ★STYLE★ SPRING & SUMMER 2025



OMEGA
SEAMASTER300
ROYAL NAVY



G.B. GAFAS
FISH&CHIPS
SUN GLASSES



CHAMPION
PHYSICAL EDUCATION
TRAINING T-SHIRT



LEVI'S
501XX



CONVERSE
STAR & BARS

FACE
TO
FACE

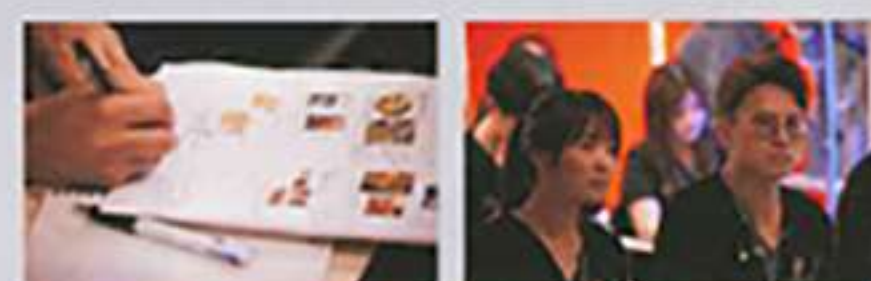
Dr. N. Furuyama

ドクター古山の
ルックスアップ講座

去る4月11日(金)と12日(土)の両日、自由が丘クリニック・NPO法人自由が丘アカデミー・P.SKIN Aesthetics Instituteのコラボレーションで、専門医資格を持つ若手医師の教育のためにセミナー「インターナショナルトレーニングコース」が開催された。今回は拡大版として、その熱を帯びたセミナーの様子をレポートしよう。

インターナショナルトレーニング編

4月11日(金)12日(土)の2日間にわたって開催された「インターナショナルトレーニングコース」。前回のセミナーにも増して、日本、台湾、中国から若手医師が数多く参加した。



今回のセミナーは大学教授の推薦を受けた専門医資格を持つ日本、台湾、中国の若手医師30名を対象に、それぞれの所属が丘クリニックのスペシャリストが講師を務めた。現在の美容医療界を代表するドクターたちのレクチャーも、若い医師たちはメモを取りながら真剣な表情で受講していた。

今回のセミナー「インターナショナルトレーニングコース」の共同主催者、自由が丘クリニック(自由が丘)の院長(院長)・P.SKIN Aesthetics Instituteの院長(院長)・NPO法人自由が丘アカデミーの代表理事(代表理事)・NPO法人自由が丘アカデミーの代表理事(代表理事)が、今回のセミナーを企画・運営した。



国境を越えてアジアの若者が
トップドクターの講義に集中

自由が丘クリニック内にあるセミナー会場は熱気に包まれていた。このセミナーは昨年同様開催されたが、台湾でも大きな注目を呼び、P.SKIN Aesthetics Instituteのデイレクターを務める名医ビクター・ベンさんの希望で、今回第2回が行われる運びになったのである。対象の受講者は、大学教授の推薦を受けた専門医資格を持つ日本、台湾、中国の若手医師30名。自由が丘クリニックのスペシャリスト、ビクター先生、さらに昨年に引き続き台湾のトップドクターであるアーロン・シェ先生も講師として参加した。

セミナーのプログラムはじつに幅広く、じつにアカデミックだ。中には、素人である我々が聞いても興味を注がれる講義もある。以下プログラムをざっと説明してみよう。

- ・ドクター古山によるヒアルロン酸注射前と注入治療の実演とビクター先生の講義
- ・自由が丘クリニック中北院長の鼻の手術に関する講義
- ・福岡大学名誉教授で自由が丘アカデミーの代表理事を務める大塚先生による上まぶたの治療の講義
- ・帝京大学形成・口腔顎顔面外科学講座主任教授の小室先生による下まぶたのたるみ取りの講義
- ・自由が丘クリニック形成外科部長の古山恵理先生と東海大学医学部外科学系形成外科学教授の河野先生による目1ドゥ(ハイク)の実演
- ・北里大学名誉教授の武田先生(毛髪外科主任)による眉毛の講義

- ・ホリフト(スレッドリフト)に関する自由が丘クリニック院長の演説とアーロン先生の講義
- ・自由が丘クリニック院長の解剖に関する講義
- ・東京リライヴクリニック院長の石川先生による「再生医療」の講義
- ・トップドクターたちによる美容医療の教育セミナーとしてはこれ以上のものはないと納得させるプログラムだ。

われわれ編集部取材は、セミナー初日の午後に行われた3つの講義・実演取材した。石川先生による再生医療の講義、小室先生による下まぶたのたるみ取りの講義、大塚先生による上まぶたの治療の講義、秋本院長による解剖の講義、そしてドクター古山のヒアルロン酸とボトックスの注入治療の実演の5クラスである。

石川先生は国内における再生医療の第一人者だ。東京リライヴクリニックで進めている再生医療研究の現状状況、将来における再生医療の可能性などについて詳しく解説すると、講義後には数多くの質問が飛び交った。小室先生は流ちょうな英語で臨床の実例を示しながら、たるみ取りの治療を解説。ドクター古山曰く「間違いないキーマンのひとり」となる名医だ。さらに大塚先生による上まぶたの治療の講義では、若い顔と老後の顔の例に取り、加齢による眼瞼下垂による表情の変化を見せながら、サージェリーでどこまで若さを取り戻せるかを詳しく解説。秋本院長の解剖に関する講義は、我々素人にも興味深いものだった。ボツリヌストキシンの注入療法(ワイヤー)について、顔面神経を避けて注入することの重要性や、年々更新されている新たな知識



ドクター古山によるヒアルロン酸とボトックスの注入治療の実演も行った。世界を代表するアンサージェリー教師のマスターによる実演とあって、受講生たちは最後まで食い入るようにチェックしながらその技術を学んでいた。



自由が丘クリニックの院長である中北信昭先生は、専門の「鼻の手術」に関する講演を行った。



自由が丘クリニック副院長の眞田雅也先生と、台湾を代表するドクターで、フェイスリフトに使用する専用糸の開発者でもあるアーロン先生。セミナー当日は糸リフトに関する眞田先生の講演とアーロン先生の講演にも注目が集まった。左下写真は眞田先生に打ち合わせを行なうシーン。二人は美容業界の将来を語り合っていた。



自由が丘クリニック院長・秋本晴典先生は、専門の「鼻の手術」に関する講演を行った。中北先生（左）とともにHIFU（高強度焦点式超音波）の講演も行った。台湾大学医学部外科学講座主任教授の劉聖和先生。



台湾大学医学部外科学講座主任教授の劉聖和先生。



一宮直樹先生によるHIFUの実演。HIFUとはHigh Intensity Focused Ultrasound（高強度焦点式超音波）の略で肌の引き締めやたるみの改善を目的とした美容治療のことだ。



「下まぶたのたるみ取り」の講演を行った。台湾大学形成・口腔顎顔外科学講座主任教授の劉聖和先生。



自由が丘クリニックの代表理事を務める大塚海先生は「上まぶたの治療」に関する講演を行った。



台湾を代表する皮膚科医のピーター・ベン先生。古山先生との友情も深く、深い医師同士の信頼関係が感じられる。



東京リライフクリニック院長、石川正志先生は「再生医療」をテーマに講演。多くの賛同も受け受けた。



北京大學医学部教授の劉聖和先生は、我々ドクター世代のテーマでもある「顔毛」に関する講演を行った。



自由が丘クリニック院長・秋本晴典先生の「顔毛」に関する講演は、素人である我々でも大いに興味を惹きました。



自由が丘クリニック内のセミナー会場の入口にて、2日間わたってびっしりとスケジュールが詰め込まれたプログラム。自由が丘クリニックのドクター以外に、海外からは昨年に続き台湾のトップドクターであるピーター・ベン先生とアーロン・シエ（劉聖和）先生の講演した。



アフターセミナーのパーティー会場は、国際ミネケシーションの場。若手医師たちが真摯な顔で講演に耳を傾け、実演にも高い関心を示した「インターナショナルトレーニングコース」。セミナー終了後は自由が丘クリニック近くにあるイタリアンレストランでパーティーを開催。日本、台湾、中国のドクターたちが国境を越えてコミュニケーションを深めた。知見の共有によって互いの向上心も高まっていく。この国際交流を通じて、アジアから世界へと質の高い美容医療が伝播していくだろう。

見なしについてわかりやすく説明していた。そしてこの日のクライマックスは、ドクター古山による注目の手術の実演。手術室の空間が静寂に包まれた。受講生は実演の前半と後半で、手術室で真に見学するグループが交代する形がとられた。本来なら「企業秘密」としてベールに包んでおいてもおかしくない高度な技術で、ドクター古山は惜しむことなく受講生に披露している。素晴らしい術を披露するに賛同する方々、野を看する者のための注目は、針の深さから注入量なども公開していた。

日本、台湾、中国から参加した若手医師たちは、真摯な顔で講演に耳を傾け、実演も一瞬も見逃さず高い集中度で観察していた。講演後、実演後の質疑応答でも熱意な意見交換が行われるなど、実りの多いセッションだった。

自由が丘クリニックのような医療業界トップクラスのクリニックが日々奮闘しているのは、一筋が低レベルの療法を行っていたのでは美容医療界全体の信頼が失墜してしまう。美容医療界のレベルがボトムアップされ、社会から求められる信頼度が向上すれば、業界をリードするクリニックのクオリティの高さが自ずと証明される。ドクター古山が自ら技術を公開し、若い人材の育成に努力を惜しまないのは、こうした長期的な視野があるからだ。「今後とも国内外でアカデミックな活動を通じて、知見の共有と技術の向上に努め、より質の高い美容医療の提供に貢献していきたい」。その意気込みも、今回の「インターナショナルトレーニングコース」は有意義な国際交流セミナーだった。